

年間指導計画を立案する際の参考資料

中学校 第3学年 「美術（日本文教出版）」

25時間（70%）

週	領域	題材名	題材の目標	時間数	留意点	
1	B鑑賞 (1)ア  【選択】	「ゲルニカ」は語る 1時間	形や色彩、構図や描き方、制作過程から、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り、自分の見方や考え方で味わう。	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現活動との関連を意識する。</li> <li>・作者の心情や意図について話し合う時間を設定する。</li> </ul>	
		ここでシャッターを切った理由 1時間	構図や動き、明暗などの表現から、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り、自分の見方や考え方で味わう。	1		
2 ～ 6	A表現 (1)イ (2)ア B鑑賞 (1)ア  【選択】	魅力が伝わるパッケージ 6時間	中身のイメージが多くの人に伝わるように、魅力的な装飾や配色などを考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にパッケージをデザインする。	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞題材「デザインで変える現在と未来」を題材の導入などで扱う。</li> <li>・資料「日本の伝統色」を本題材の中で扱うなど、形や色彩などの効果について話し合う時間を設定する。</li> <li>・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。</li> </ul>	
		光と影の空間演出 6時間	目的や条件などを基に光と影の効果や美しさなどを考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。	6		
	7 ～ 11	A表現 (1)ア (2)ア B鑑賞 (1)ア  【選択】	私の対話 6時間	自分の姿や心の中を見つめて考えたこと、将来の夢などから主題を生み出し、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に絵や立体で表現する。	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作する作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。</li> <li>・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。</li> </ul>
			問題意識を形に 6時間	現代の社会が抱える問題や課題などから主題を生み出し、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に絵や立体で表現する。	6	
12 ～ 16	A表現 (1)イ (2)ア B鑑賞 (1)ア  【選択】	一瞬の光をとらえて 6時間	風景の中で変化する様々な光が見せる瞬間の美しさなどから主題を生み出し、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に絵で表現する。	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作する作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。</li> <li>・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。</li> </ul>	
		デザインと環境 5時間	環境のデザインについて、目的や条件、解決しなければならない問題、自然との調和などについて考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。	5		
	暮らしを心地よくするインテリア 5時間	材料の特性を生かしながら、使う人の気持ちや場面、楽しさなどを考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に生活空間を楽しく彩るインテリアや小物をデザインする。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞題材「デザインで変える現在と未来」を題材の導入などで扱う。</li> <li>・加工が容易な紙などの材料で制作することで、時間削減できるよう配慮する。</li> <li>・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。</li> </ul>		
		生活を彩る染めの味わい 5時間	目的や条件などを基に、自然物などからできる美しい色から模様を考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に染め物をデザインする。		5	
17	B鑑賞 (1)イ	刻まれた祈り 1時間	仏像の表現の特徴や細部と全体から受ける印象などから、込められた願いや創造的な表現の工夫などを感じ取り、継承されてきた仏像に対する理解や見方を深める。	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料「仏像の種類」を本題材の中で扱う。</li> </ul>	
18 ～ 21	A表現 (1)ア (2)ア B鑑賞 (1)ア  【選択】	空想の世界への誘い 6時間	自分の体験、見たことや聞いたことなどから空想を広げて主題を生み出し、想像力を膨らませ、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に絵や立体で表現する。	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作する作品の大きさと材料の種類を制限することで、時間削減できるよう配慮する。</li> <li>・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。</li> </ul>	
		イメージを形で表現しよう 6時間	自然物や心のイメージなどから主題を生み出し、形を単純化、強調するなどして構想を練り、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に抽象彫刻で表現する。	6		
	【選択】	6時間	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作する作品の大きさを材料の種類を制限することで、時間削減できるよう配慮する。</li> <li>・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。</li> </ul>		
		6時間	6			

## ※時間数の精選方法（例）

○同じ領域の題材を選択して扱う。

・例えば、A表現（1）ア（2）アを扱う題材として、「私との対話」「問題意識を形に」「一瞬の光をとらえて」のいずれかを選択して実施する。 など

○加工に時間がかかる材料を扱うことを避けたり、作品の大きさを小さくしたりして、制作時間の短縮を図る。

○題材によって多様な表現技法を提示することで、生徒が表現技法を選択して制作に臨めるようにする。

○製作途中の相互鑑賞は、鑑賞の視点を明確にし、短時間で行うことが考えられる。

○振り返り（制作した作品の鑑賞等）の活動は、休み時間などを利用し、展示された作品を鑑賞することが考えられる。友達の作品に対するコメントは、作品の名札に付箋紙を貼るなどの工夫をすることが考えられる。

○鑑賞の題材を表現の題材の導入等で扱うなど、表現と鑑賞の関連を意識し複合的に行う。

○資料収集やアイデアスケッチ、配色計画など、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。（提出されたアイデアスケッチや設計図などは、「表す」時間の前にチェックし、助言をワークシート等に記入して生徒に返す。